

グループ演習

Aグループレジュメ

	認知症の人の課題又は起きた出来事	対応または取り組み
1	物忘れ カギ、杖をどこに置いたかわからなくなり、不穩になる。 置く場所も色々ある。	職員が利用者宅での置き場所を覚えておき、利用者と一緒に探して解決していく。
2	物忘れ 居室内にて通帳等を隠してしまい、ありがが判らなくなってしまう。	通帳等、隠してしまう物に小型センサー (AMAZONで3000円程度で販売) を付け、通報があった際にセンサーを発動させ探す。
3	排泄 リハパンをトイレで流してしまい、トイレが詰まる等の事故も起きている。	トイレの水を止め、詰まりを防止する。その後、リハパンをトイレ内で発見次第、本人と会話しながらダメな事を促していく。
4	暴力、暴言 昔のことが色濃く残っており、女性に対し暴力、暴言を行ってしまう。	男性職員には安心するため、男性職員で介助を担当する。少しずつ慣れさせていくため、付き添いにて介助を行い、いずれは女性でも穏やかになれるようにして行く。
5		

グループ演習

Bグループプレジューメ

	認知症の人の課題又は起きた出来事	対応または取り組み
1	日夜問わず徘徊。札幌から小樽まで行かれた。	GPSを購入し、いつも持ち歩く鞆に入れておく。
2	衣類汚れあり、取り替えるも洗濯機から取り出し、また、着てしまう。	洗濯物を事務所で預かる。ご本人は、衣類の事を忘れて不穏になる事はない。
3	日夜問わず大声で叫ぶ。他入居者にも迷惑、不穏、退去希望もあった。	内科→精神科に依頼し、入院。薬の調整が難しく、退去になった。
4		
5		

グループ演習

Cグループプレジューメ

	認知症の人の課題又は起きた出来事	対応または取り組み
1	グループホーム時、1週間不眠で歩き回まわり、夕方になると帰宅願望が見られる。その後、、1日中寝る状態。家族は、病院に不信感あり。転倒し、入院となる。	職員見守り、本人への声掛け。 家族に対しては、セカンドオピニオンや薬の説明を、薬剤師にお願いする。
2	レビーあり。抗精神薬が強く、昼も傾眠が強い(食事もとれないほど)ラコール服用。感情失禁あり。	薬を抜いて様子を観察し、1週間ほどでおかゆ(佃煮や副食とも)7~8割ほど、摂取できるようになった。
3		
4		
5		

平成29年度 サ高住・有料老人ホーム等高齢者向け住宅虐待防止研修

グループ演習

Dグループプレジューメ

	認知症の人の課題又は起きた出来事	対応または取り組み
1	徘徊で外出し、転倒されていたことがあった。	早期発見のため、GPSを持っていただく。連絡先(事務所)を記載したものを持っていただく。施設にコンシェルジェがいる。モニターもある。
2	看護小規模が併設され、ターミナルの方多い。利用者に応じ個別対応をしている。離職率が高い。	利用者様ADLが上がった例がある。好きな事をしていただく(利用者様に)。
3	物取られ(金銭を含め)を訴える。	傾聴する。
4	サ高住で何度もコールが来る。	都度対応し、訪問、傾聴する。
5		

平成29年度 サ高住・有料老人ホーム等高齢者向け住宅虐待防止研修

グループ演習

Eグループレジュメ

	認知症の人の課題又は起きた出来事	対応または取り組み
1	物盗られ。 ----- -----	一緒に探す。 ----- -----
2	記憶障がい。 ----- -----	傾聴行う。 ----- -----
3	水分飲めない。 ----- -----	寒天、ゼリーを作って食べていただく。 ----- -----
4	外出先で行方不明。 ----- -----	家族と相談して外出控える。 ----- -----
5	ベッドから転落。 ----- -----	低床ベッドを使用。 ----- -----

グループ演習

Fグループレジュメ

	認知症の人の課題又は起きた出来事	対応または取り組み
1	物盗られ妄想	傾聴→共に探す→結果を家族に報告。最低限の物だけを置くようにしてもらう。
2	帰宅願望	デイサービスに行き、体を動かしてもらう。 アセスメントにより、もともと活発な人と判る。 趣味が増え、自分の居場所ができ、落ち着いた。
3	同性介助への抵抗	もともと、御主人と入浴されていた方。女性から男性にヘルパーを変えると解決した。
4	食事を摂った後も食事を要求	メニューを提示。説明しながら召し上がっていただくと満足される。 写真を取って見せる。
5	布パンツ→リハパンへ変えたい	いつも布パンツを干している所にリハパンを干してみると普通に使用された。

グループ演習

Gグループプレジューメ

	認知症の人の課題又は起きた出来事	対応または取り組み
1	軽度の認知の方が、町内知人宅へ外出する。通りがかった職員から全く違う方向の交通量の多い交差点を杖をついて渡っていたと報告。	GPS機能活用。 認知症カフェの利用。 認知症サポーターを聞く。
2	デイサービス利用中、趣味の将棋、入浴も実施したが、帰宅後、「何もしてくれなかった」と発言。	帰宅時間を紙に書く。 活動中の写真を載せる。
3	認知の方、お腹が空いたと訴える(カロリー制限なし)。	おにぎりや飲み物(温かい物)を提供。 GPSの利用、巡回強化。
4		
5		